

緊急時の連絡体制

地域のため池が決壊するおそれがある場合、地域のみなさんへは下記の方法で電話連絡します。ハザードマップを参考にして、安全な経路を通り避難してください。



決壊するおそれがある場合、一般住民の方はため池に近づかないでください。

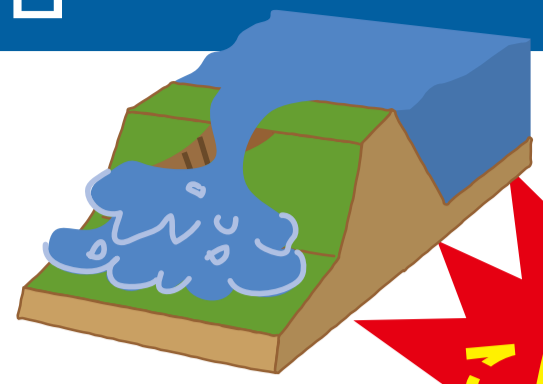
家族の緊急連絡メモ

本人について		家族・関係者の連絡先			
名前		名前	所属先名	電話番号	メモ
住所					
電話番号					
生年月日					
血液型					
服用中の薬					

はぐれた時の家族の避難場所

豪雨の場合

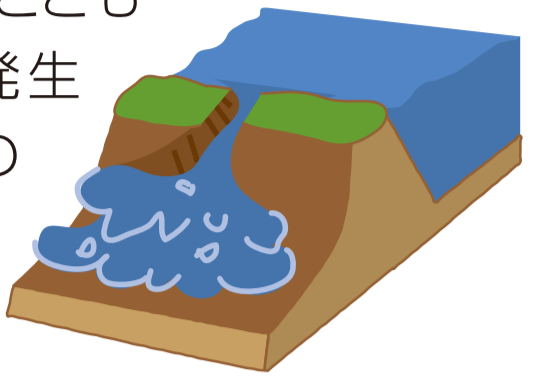
ため池の豪雨災害では、降雨による浸透や貯水位の上昇に伴う堤体内の浸透や強度低下などの多くの要因が影響して生じます。最も多いと考えられる要因としては、経年変化により堤体内に浸透水の経路が発生し、豪雨による貯水位の急上昇によって堤体の下流法尻から侵食が進み崩壊に至るものです。



こんなときは要注意!!
(ため池決壊の原因)

地震の場合

ため池の地震による崩壊は、地震の揺れを原因として一気に起こることもあれば、弱部に貯水が影響して暫く時間が経過してから起こることもあるので、地震発生時の点検や事後の監視が重要となります。



豪雨による被災メカニズム

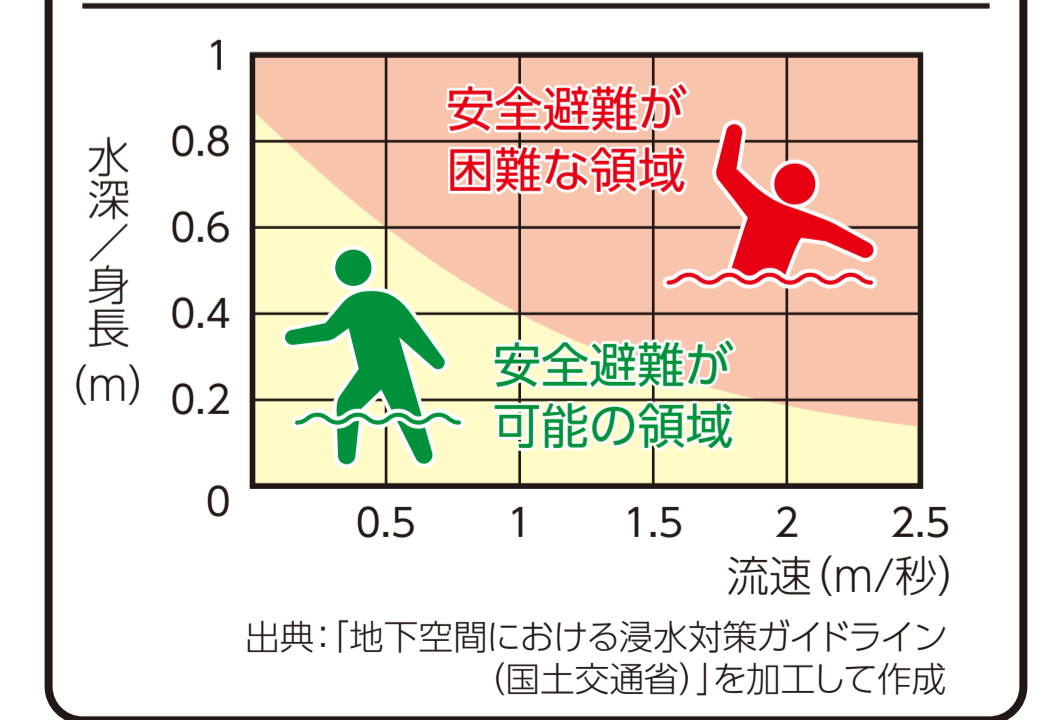
- 越流破壊**: 豪雨や洪水吐の閉塞により、貯水位が急激に上昇し、堤体を超えて流れ出すと、下流法面を侵食することによって、破壊する場合があります。また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。
- すべり破壊**: 貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する場合があります。
- 浸透破壊**: 堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下すると、貯水位が上昇したときに堤体の中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。また堤体内に上流から下流まで貫通した水みちが発生し破壊する場合があります。
- 土石流による決壊**: 上流域の山林等の崩壊により発生した土石流等の流入により、堤体が破壊される場合があります。

地震による被災メカニズム

- クラック**: 堤体の頂部などにクラック(亀裂)が発生する場合があります。堤体の上下流方向に生じるクラック(亀裂)は水みちとなることがあり、特に注意が必要です。
- 沈下**: 堤体の形状をほぼ保ち、クラック(亀裂)などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。多くは軟らかい地盤で発生しています。
- 斜面崩壊**: 堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合があります。
- 斜面すべり**: 地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。
- 崩落**: 堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する場合があります。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられています。

出典:「ため池管理マニュアル(令和2年6月作成)」(農林水産省)を加工して作成

洪水避難時に水中歩行できる領域



避難するときの注意点

- 冠水した道路では、側溝やふたが外れたマンホールの穴などが見えませんが、棒などで足元を確認しながら進んでください。
- 避難の際は、警察や消防、自主防災会などの指示に従ってください。
- 子どもや高齢者、病気やケガをされている方など、手助けが必要な人の避難に協力しましょう。
- 行動しやすい服装で、2人以上で避難しましょう。
- 川の近くや、土砂災害の危険のあるところはできるだけ避けて避難してください。